

MASPRO

CATV 屋内用

CATVブースター

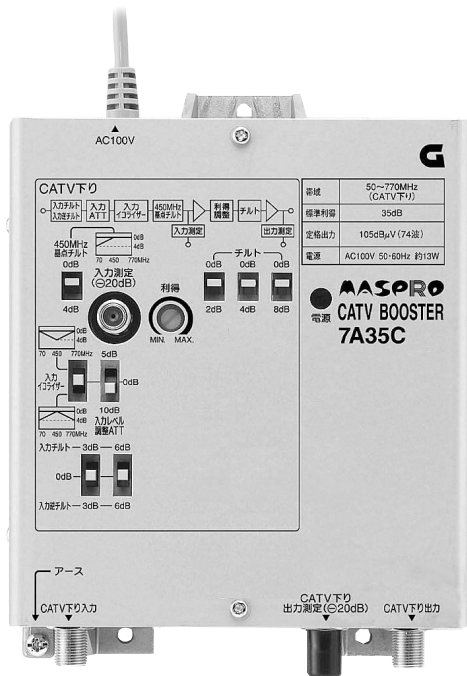
取扱説明書

DIGITAL
デジタル放送対応

CATV BOOSTER
伝送周波数帯域 CATV下り：50～770MHz
7A35C
AC100V方式

35dB型

アパート・マンションなどで、CATV共同受信に使用する、高性能ブースターです。



MAster of PROduction
生産の覇者

優れた性能と機能

高出力

高性能パワーICと最新の回路技術によって、74波のテレビ信号を低ひずみで増幅して伝送できます。また、CATV下りの定格出力レベルが105dB μ Vと高出力ですから、端子数の多いシステムのビル共同受信に最適です。

きめ細かい入力レベル調整が可能 (CATV下り)

入力チルト、入力逆チルト、入力レベル調整ATT、入力イコライザー、450MHz基点チルトによって、きめ細かい入力レベル調整ができますから、多様なシステムに対応できます。

CATV入力測定端子を搭載

CATVの出力測定端子に加え、CATVの入力測定端子も付いていますから、CATV下りの信号の入・出力レベルの測定が容易です。

トラッキング防止構造

ACプラグの刃の間は、難燃性の樹脂になっていますから、トラッキング現象が起りにくくなっています。

各部の名称と機能

ご注意

- 利得調整を操作するときは、調整用ドライバーを使用してください。無理に回すと、こわれることがあります。
- スイッチは軽く操作してください。力を入れすぎると、こわれることがあります。

ACコード

(約0.9m)

ACコードを延長するために、途中で切断して別のコードをつなぐことは、電気設備技術基準で禁じられています。

利得調整

出力レベルを0～ \ominus 10dBの範囲で連続して調整できます。

450MHz基点チルト (4dB)

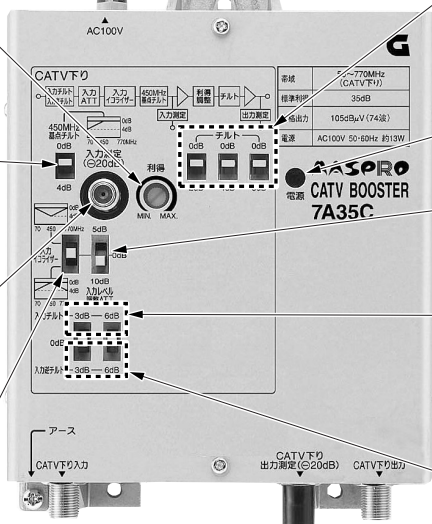
- 入力信号のレベル差を補正できます。
- p.3「450MHz基点チルトについて」をご覧ください。

CATV下り入力測定端子 (\ominus 20dB)

入力イコライザー (4dB)

- 入力信号のレベル差を補正できます。
- p.3「入力イコライザーについて」をご覧ください。

前面



チルト (2, 4, 8dB)

70MHzにおける出力レベルを2dBステップで最大14dBまで調整できます。(770MHzの出力レベルは変わりません)

電源表示灯

入力レベル調整ATT (5, 10dB)

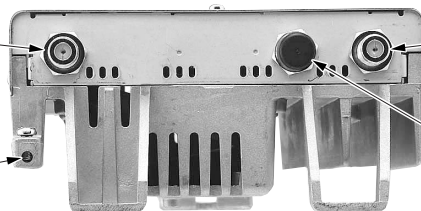
入力チルト (3, 6dB)

- 入力信号のレベル差を補正できます。
- p.3「入力チルト・入力逆チルトについて」をご覧ください。

入力逆チルト (3, 6dB)

- 入力信号のレベル差を補正できます。
- p.3「入力チルト・入力逆チルトについて」をご覧ください。

底面



CATV下り入力端子

CATV下り出力端子

アース端子 (避雷用)

CATV下り出力測定端子 (\ominus 20dB)

出荷時の設定は、p.3「出荷時の設定」をご覧ください。

入力レベルの設定について

ブースターは、過大な入力レベルで動作させておくと、故障の原因となります。使用する前に必ず確認してください。

入力レベルの確認

レベルチェッカーまたはスペクトラムアナライザーで、入力レベルをチェックしてください。

CATV下り帯域 (74波伝送時)

- CATV下り入力測定端子で測定してください。(測定値に20dBを加えた値がCATV下り入力レベルです)
- CATV下り入力レベルが標準入力レベル(70dB μ V:アナログTV信号74波)になるように、入力チルト、入力逆チルト、入力レベル調整ATT、入カイコライザー、450MHz基点チルトで調整してください。
- CATV下り入力レベルの調整後、CATV下り出力測定端子で、定格出力レベル以下になっていることを確認してください。

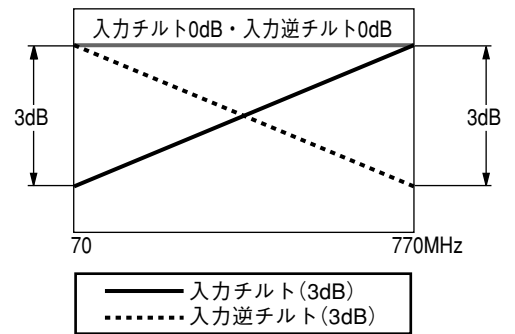
入力チルト・入力逆チルトについて

入力チルト (3, 6dB)

70MHzにおける入力レベルを3dBステップで最大9dBまで調整できます。(770MHzの入力レベルは変わりません)

入力逆チルト (3, 6dB)

770MHzにおける入力レベルを3dBステップで最大9dBまで調整できます。(70MHzの入力レベルは変わりません)



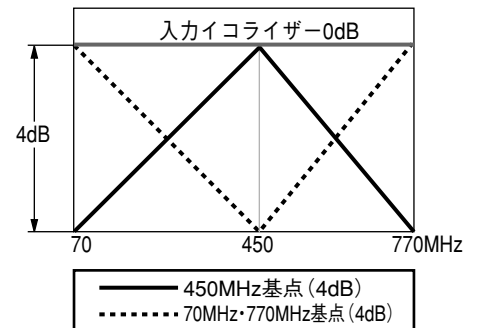
入カイコライザーについて

450MHz基点 (4dB)

450MHzを基点として、70MHzと770MHzにおける入力レベルを4dB下げることができます。(450MHzの入力レベルは変わりません)

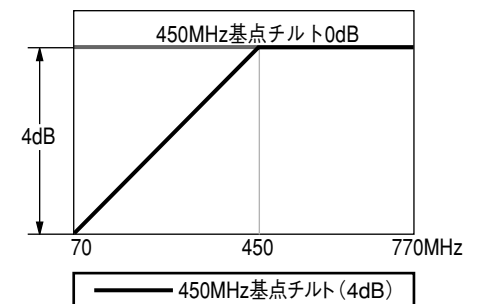
70MHz・770MHz基点 (4dB)

70MHzと770MHzを基点として、450MHzにおける入力レベルを4dB下げることができます。(70MHzと770MHzの入力レベルは変わりません)



450MHz基点チルトについて

450MHzを基点として、70MHzにおける入力レベルを4dB下げることができます。(450~770MHzの入力レベルは変わりません)

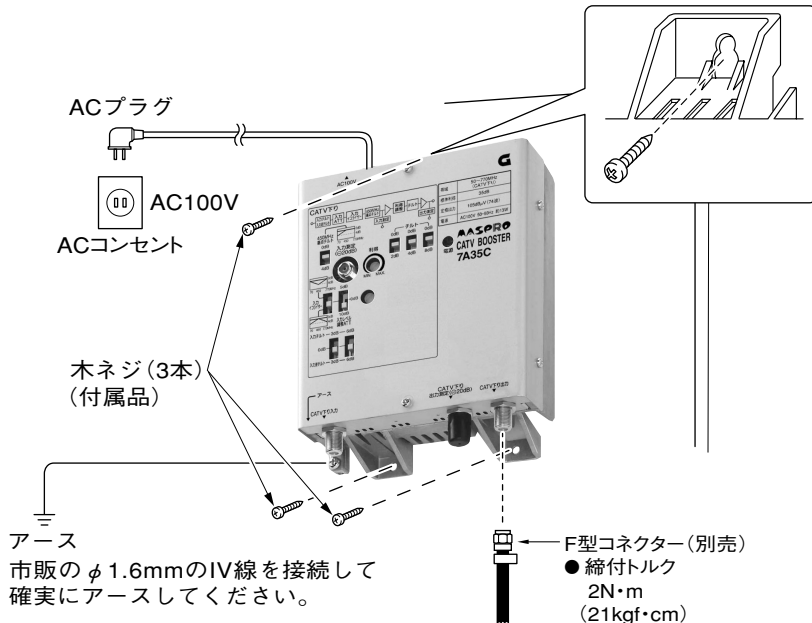


出荷時の設定

出荷時の設定は、下表のようになっています。

名称	設定
入力チルト	0dB
入力逆チルト	0dB
入力レベル調整ATT	10dB
入カイコライザー	0dB
450MHz基点チルト	0dB
利得調整	MIN.
チルト	0dB

取付方法



ご注意

- 本器は、取付方法にしたがって正しく取付けてください。
(本器を横向きや逆さまにして取付けないでください。)
- ACプラグは、共同受信の配線工事がすべて終了してから、ACコンセントに接続してください。
- 本器は、内部温度上昇を防ぐため、グラスウールのような断熱材の上に置いたり、包んだりしないでください。
- 本器の通気孔をふさがらないでください。
- 腐食性ガス(塩素、硫化水素、亜硫酸ガス、窒素酸化物、塩基性ガスなど)が発生する環境で本器を使用しないでください。

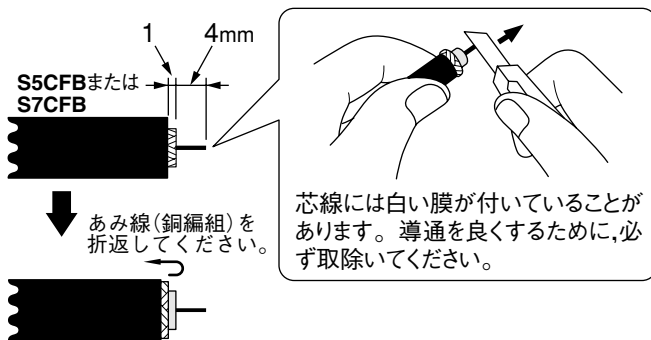
機器収容ボックスに設置するときの注意

- 本器を機器収容ボックスに設置するときは、下記の点に注意してください。
内部が高温になると、故障の原因になります。
 - ・ 機器収容ボックスは、内部の温度が40℃を超えるような場所に取付けないでください。
 - ・ 機器収容ボックスは、400(H)×500(W)×160(D)mm以上の大きさで、換気孔のあるものを使用してください。(換気孔をふさがらないでください)
 - ・ 本器以外に発熱する機器を設置するときは、機器収容ボックスを大きなサイズにしてください。
 - ・ 本器は、高温にならないように、できるだけ機器収容ボックス内の低い位置に取付けてください。
 - ・ 本器の通気孔をふさぐような機器収容ボックス内の位置に、他の機器を取付けないでください。
- ビニルテープなどの腐食性ガスを発生するものを機器収容ボックス内で使用しないでください。
- 機器収容ボックスは、あらかじめアースをしてください。

F型コネクターの取付方法

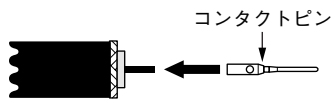
- F型コネクターC15FP5(5Cケーブル用)、C15FP7(7Cケーブル用)は別売です。
- 接触不良やショートを防ぐため、プラグはていねいに取付けてください。

① ケーブルの加工(加工寸法は原寸大です)

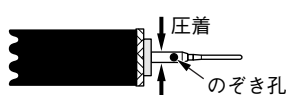


② コンタクトピンの取付け

1. コンタクトピンを芯線にはめてください。



2. のぞき孔から芯線が見えるのを確認してから、専用の圧着ペンチでコンタクトピンの根元を圧着してください。

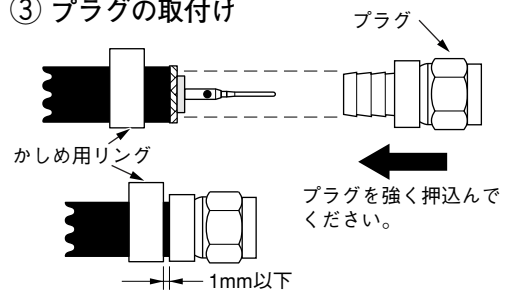


コンタクトピンを前後に動かして、しっかり圧着されていることを確認してください。

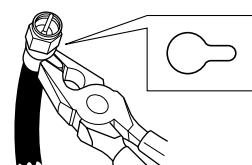
ご注意

コンタクトピンは、必ず、専用の圧着ペンチで圧着してください。

③ プラグの取付け



④ かしめ用リングをペンチで圧着



規格表

Specifications



付属品

木ネジ・・・・・・・・・・・・ 3本

項目 Items	規格	
伝送周波数帯域 Frequency Range	50~770MHz	
伝送波数 Number of Transmission Signals	50~550MHz : アナログTV信号74波 550~770MHz : デジタル信号(⊖10dB運用)	
標準利得(利得) Operating Gain / Gain	35dB (33~37dB)	
標準入力レベル Operating Input Level	70dB μ V (アナログTV信号74波)	
定格出力レベル Rated Output Level	105dB μ V (アナログTV信号74波)	
入力レベル調整 Input Level Control	ATT Attenuator	0, 5, 10dB切換
	チルト Tilt	最大9dB (3dBステップ) / 70MHz ※1
	逆チルト 770MHz Tilt	最大9dB (3dBステップ) / 770MHz ※2
	イコライザー Equalizer	0, 4dB切換 ※3
出力レベル調整 Output Level Control	450MHz基点チルト 450MHz Tilt	0, 4dB切換 ※4
	利得 Gain	0~⊖10dB以上(連続可変)
	チルト Tilt	最大14dB (2dBステップ) / 70MHz ※1
周波数特性 Gain Response	3dB以内	
雑音指数 Noise Figure	8dB以内	
混変調/相互変調 Cross Modulation / Intermodulation	⊖58dB以下 / ⊖70dB以下 (IM ₂)	
CTB Composite Triple Beat	⊖60dB以下	
CSO Composite Second Order Beat	⊖65dB以下	
利得安定度 Temperature Stability	±1dB以内	
ハム変調 Hum Modulation	⊖70dB以下	
VSWR Voltage Standing Wave Ratio	2以下	
インピーダンス Impedance	75 Ω (F型コネクター)	
不要放射 Radiation	34dB μ V / m以下	
耐雷性 Surge Protection Voltage	±15kV (1.2/50 μ s) のサージ電圧に耐えること	
入力測定端子結合量 Tap Value of Input Test Point	⊖20dB (F型コネクター)	
出力測定端子結合量 Tap Value of Output Test Point	⊖20dB (F型コネクター)	
電源/消費電力 Power Requirements / Power Consumption	AC100V 50・60Hz/約13W	
使用温度範囲 Temperature Range	⊖10~ ⊕40 $^{\circ}$ C	
外観寸法 Dimensions	175 (H) × 135 (W) × 67 (D) mm	
質量(重量) Weight	約1.1kg	
シンボル Symbol		

マスプロの規格表に絶対うそはありません。保証します。

- ※1 770MHzを基点とした70MHzでのチルト量です。
- ※2 70MHzを基点とした770MHzでのチルト量です。
- ※3 450MHzを基点とした70と770MHz, または, 70と770MHzを基点とした450MHzでのチルト量です。
- ※4 450MHzを基点とした70MHzでのチルト量です。

Master of PROduction
生産の響き

2K56-210

B 92-5210-1L

地デジをすべての人に届けたい

= マスプロ電工 =

本社 〒470-0194 (本社専用番号) 愛知県日進市浅田町上納80
 技術相談 TEL名古屋(052) 805-3366
 受付時間 9~12時, 13~17時
 (土・日・祝日, 当社休業日を除く)
 インターネットホームページ www.maspro.co.jp
 技術相談以外は, お近くの支店・営業所にお問合わせください。

- 支店・営業所**
- 福岡(支) (092) 551-1711
 - 九州(支) (092) 551-1711
 - 沖縄 (098) 854-2768
 - 鹿児島 (099) 812-1200
 - 宮崎 (0985) 25-3877
 - 熊本 (096) 381-7626
 - 長崎 (095) 864-6001
 - 北九州 (093) 941-4026
 - 広島(支) (082) 230-2351
 - 中国四国(支) (082) 230-2359
 - 下関 (083) 255-1130
 - 松江 (0852) 21-5341

- 岡山 (086) 252-5800
- 山松 (089) 973-5656
- 高知 (088) 882-0991
- 高松 (087) 865-3666
- 大阪(支) (06) 6635-2222
- 近畿(支) (06) 6632-1144
- 姫路 (079) 234-6669
- 神戸 (078) 231-6111
- 京都 (075) 646-3800
- 名古屋(支) (052) 802-2233
- 東海北陸(支) (052) 802-2233
- 津 (059) 234-0261
- 岐阜 (058) 275-0805

- 豊橋 (0532) 33-1500
- 岡岡 (054) 283-2220
- 松本 (0263) 57-4625
- 福井 (0776) 23-8153
- 金沢 (076) 249-5301
- 東京(支) (03) 3409-5505
- 静岡(支) (054) 283-2220
- 新潟 (025) 287-3155
- 横浜 (045) 784-1422
- 青戸 (03) 3695-1811
- 八王子 (042) 637-1699
- 千葉 (043) 232-5335
- さいたま (048) 663-8000

- 前橋 (027) 263-3767
 - 水戸 (029) 248-3870
 - 宇都宮 (028) 636-1210
 - 仙台(支) (022) 786-5060
 - 東北北海道(支) (022) 786-5064
 - 郡山 (024) 952-0095
 - 盛岡 (019) 641-1500
 - 秋田 (018) 862-7523
 - 青森 (017) 742-4227
 - 札幌 (011) 782-0711
 - 釧路 (0154) 23-8466
 - 旭川 (0166) 25-3111
- (支) : システム営業グループ

製品向上のため仕様・外観は変更することがあります。